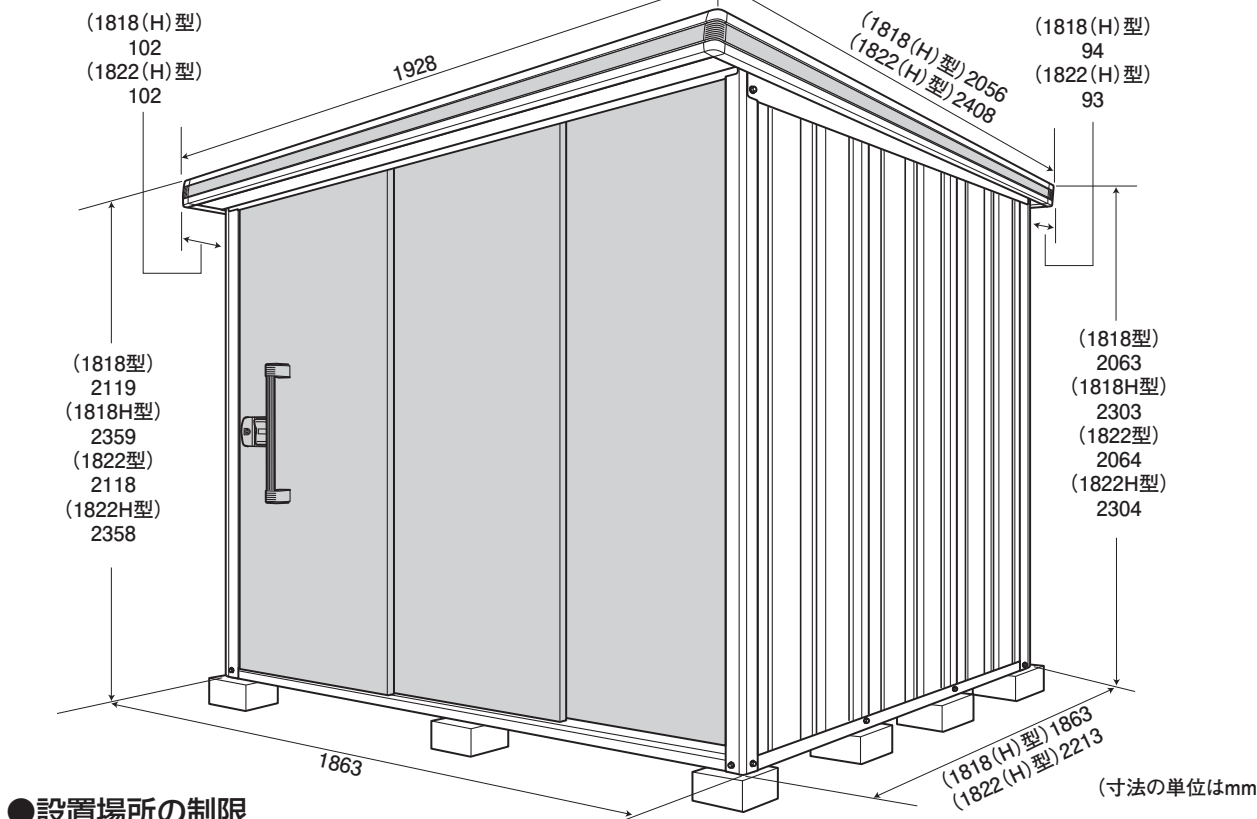


ヨド物置 エルモ

組立説明書 LMD-1818型・1818H型・1822型・1822H型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。

※この組立説明書は「1822」の組立手順を基本に説明しています。



●設置場所の制限

△注意

- 建物の屋上には設置しないでください。
- バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- 崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- 給湯器の前には設置しないでください。

●組立施工の際には

△注意

- アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。●組立の際には手袋を着用してください。
- 梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。
- 組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
- 風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
- 高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- 組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆがみがないか確認してください。

●梱包組み合わせ表

部材名	1818 型	1822 型	1818H 型	1822H 型
種別	上枠前後 下枠前後 上枠左右 下枠左右	上枠前後 下枠前後 上枠左右 下枠左右	上枠前後 下枠前後 上枠左右 下枠左右	上枠前後 下枠前後 上枠左右 下枠左右
補強	一般型 積雪型	一般型 積雪型	一般型 積雪型	一般型 積雪型
床板	一般型 積雪型	一般型 積雪型	一般型 積雪型	一般型 積雪型
壁	一般型 積雪型	一般型 積雪型	一般型 積雪型	一般型 積雪型
合計	18 18	18 18	18 18	18 18

●梱包内容表

部材名	数量	部材名	数量
上枠前後	2	上枠前後	2
上枠左右	2	上枠左右	2
下枠前後	2	下枠前後	2
下枠左右	2	下枠左右	2
柱	4	柱	4
補強	1	補強	1
床板	1	床板	1
壁	1	壁	1
合計	18	合計	18

○部材名称にはA2.5、A3.0等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略してあります。
○梱包番号の右側の数字は使用機種を示しています。
鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

●施工にあたって

- 1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。
- 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立ててください。
- 3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
- 4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
- 5.部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

●基礎工事に必要なもの(市販品をご準備ください。)

- ・コンクリートブロック 12ヶ(幅19cm×長さ19cm×厚さ10cmが適当です。)
- ・コンクリート(サイズは下図の穴サイズをご参照ください。)*土の上に設置する場合に必要です。
- ・芯棒打ち込み式アンカー(M12×70以上)4本*コンクリート床の上に設置する場合に必要です。

●組立てに必要なもの(事前にご準備ください。)

- ・軍手 ・水準器 ・脚立 ・+ドライバー(右側開口にする場合のみ必要)

●使用ビス一覧

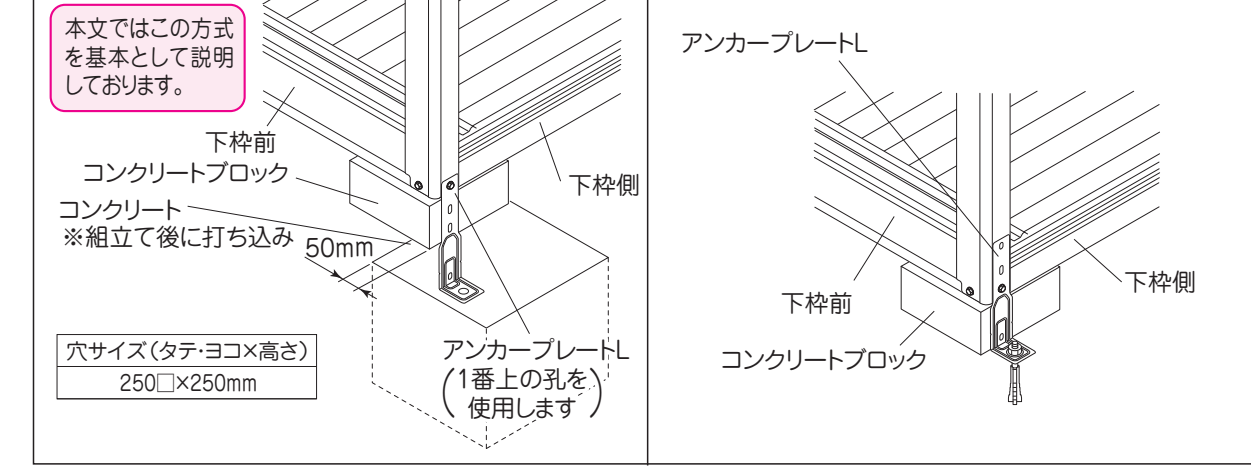
ボルト(白) M6×15	ボルト (スプリングワッシャー付) M6×15
-----------------	-------------------------------

●アンカー工事について

アンカー工事は設置場所によって下図のような方法があります。強風による転倒防止のため、必ず行ってください。

《土の上に設置する場合》

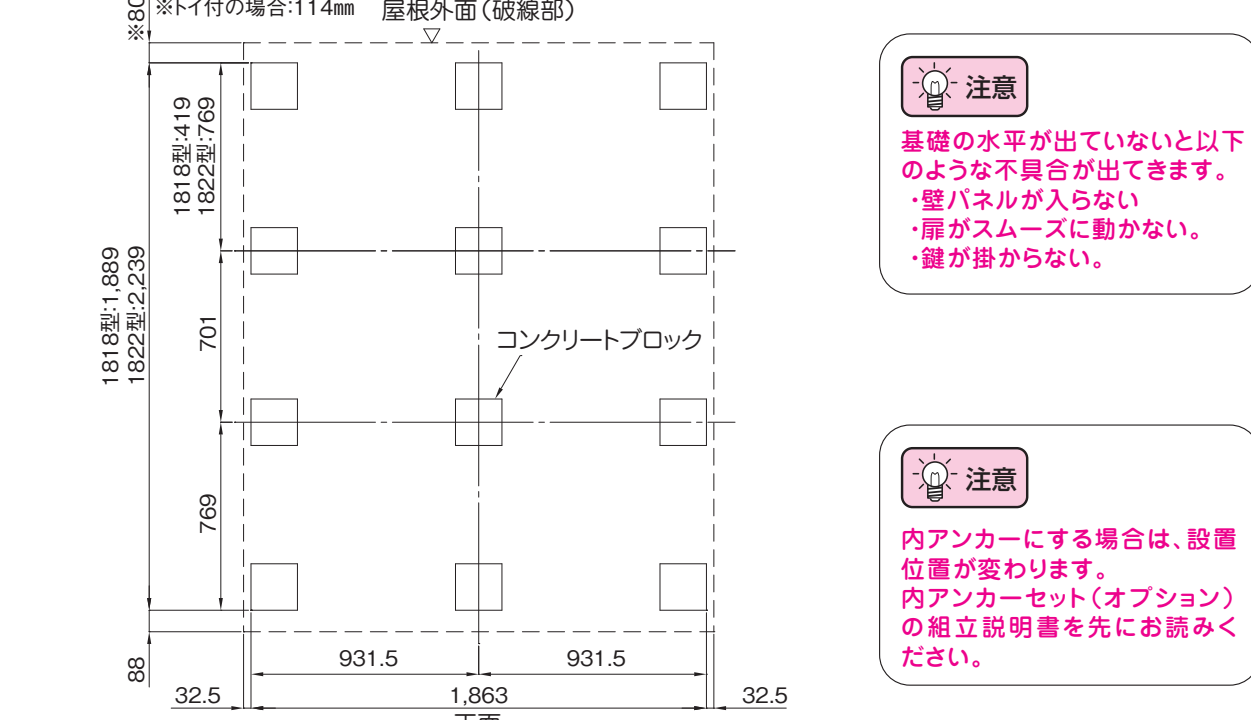
4隅に穴を掘り(下図参照)、施工後にコンクリートを流し込んでアンカープレート(L)を固定します。



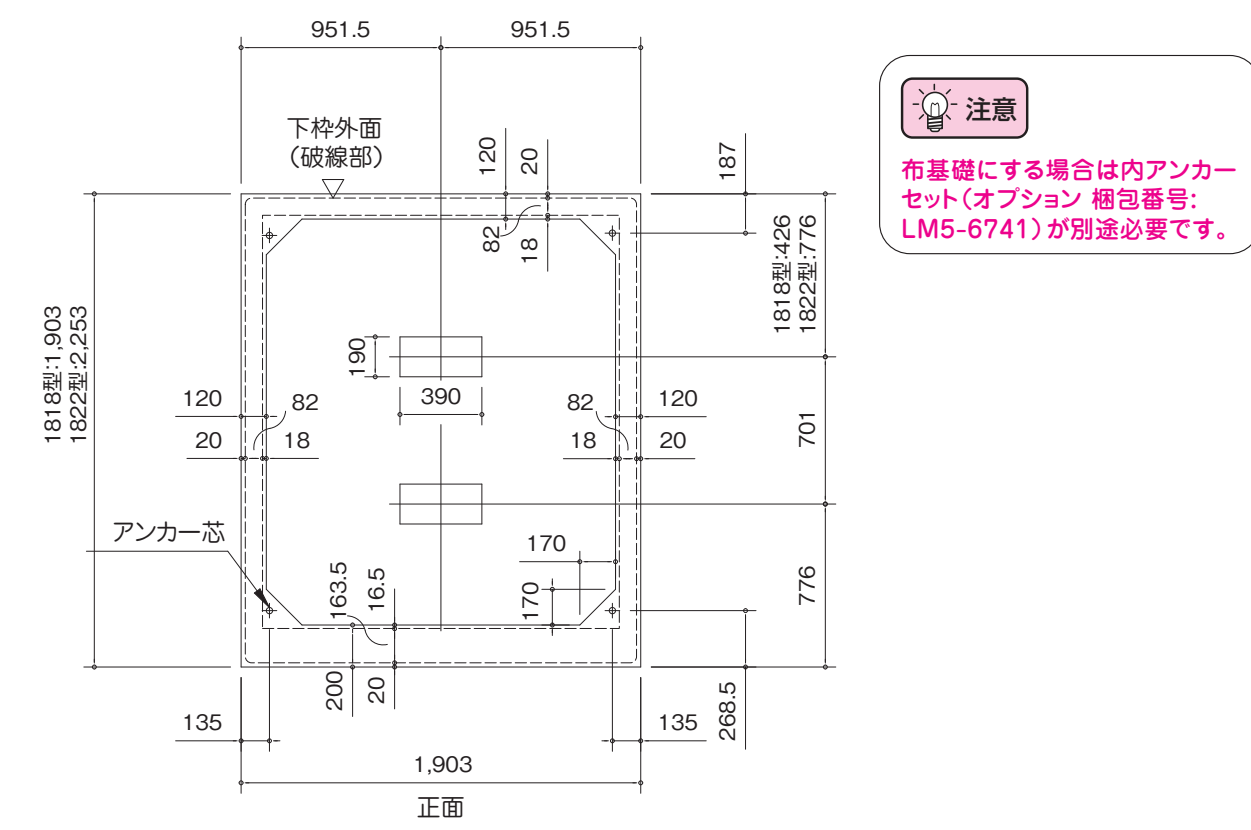
△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情(基準風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください。

1 基礎施工

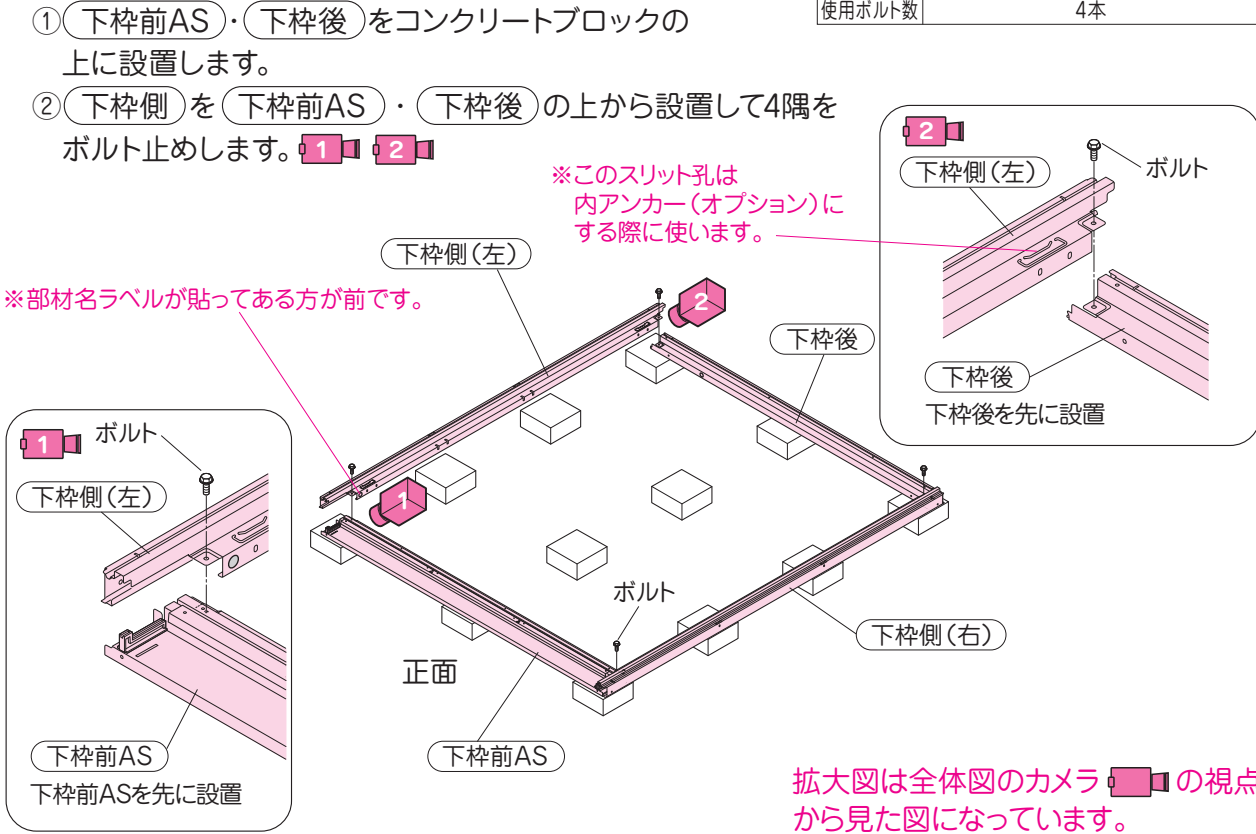
- ①設置場所の地ならし、地固めを行います。
- ②水準器を使って水平になるようにコンクリートブロックを図の寸法に並べます。(数字の単位はmm)



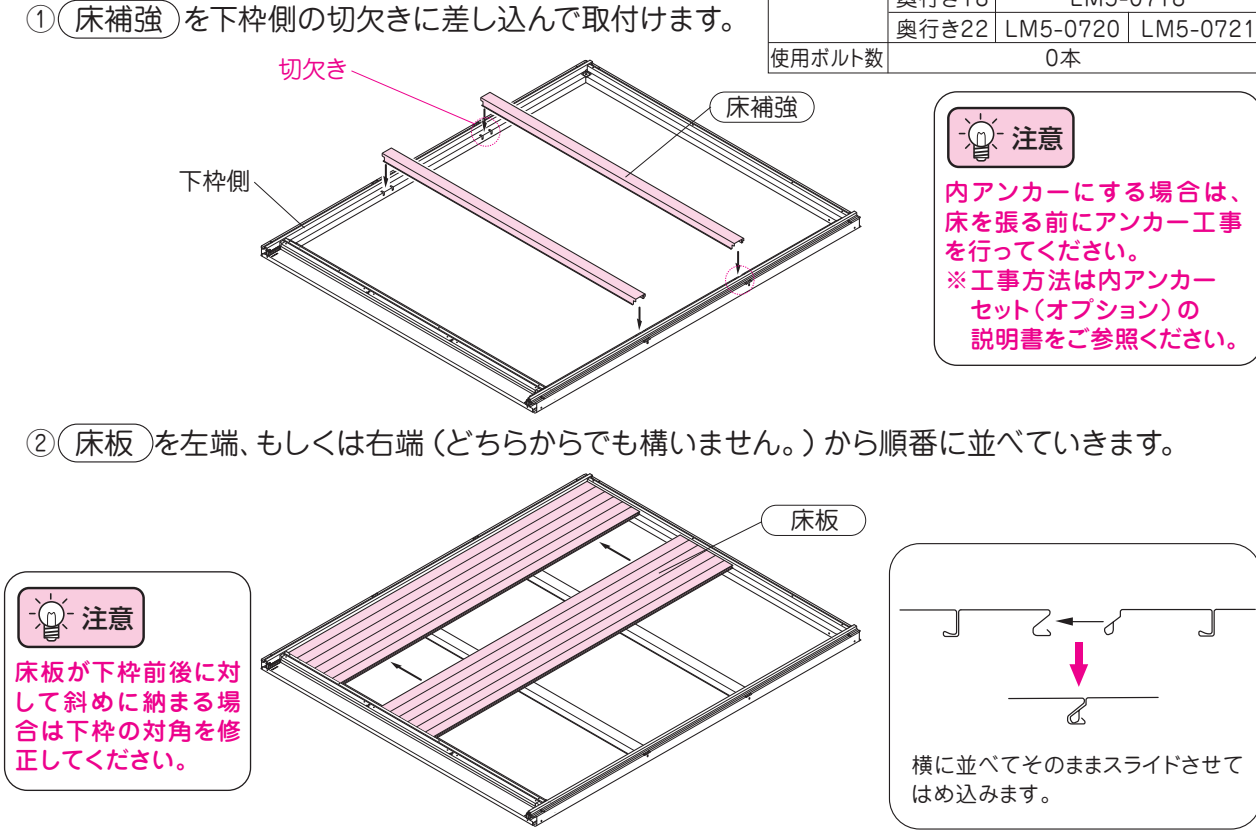
《布基礎の場合》(詳細図面は当社ホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。)



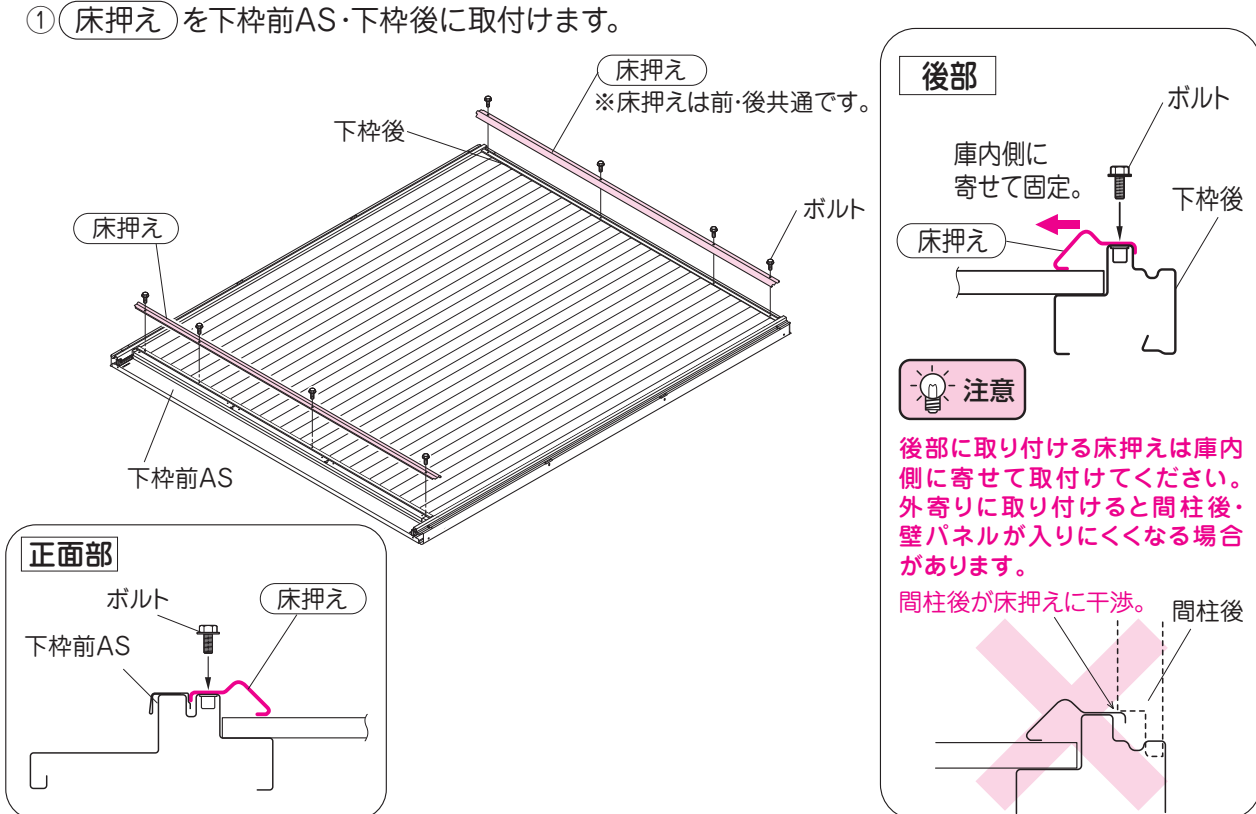
2 下枠の組立



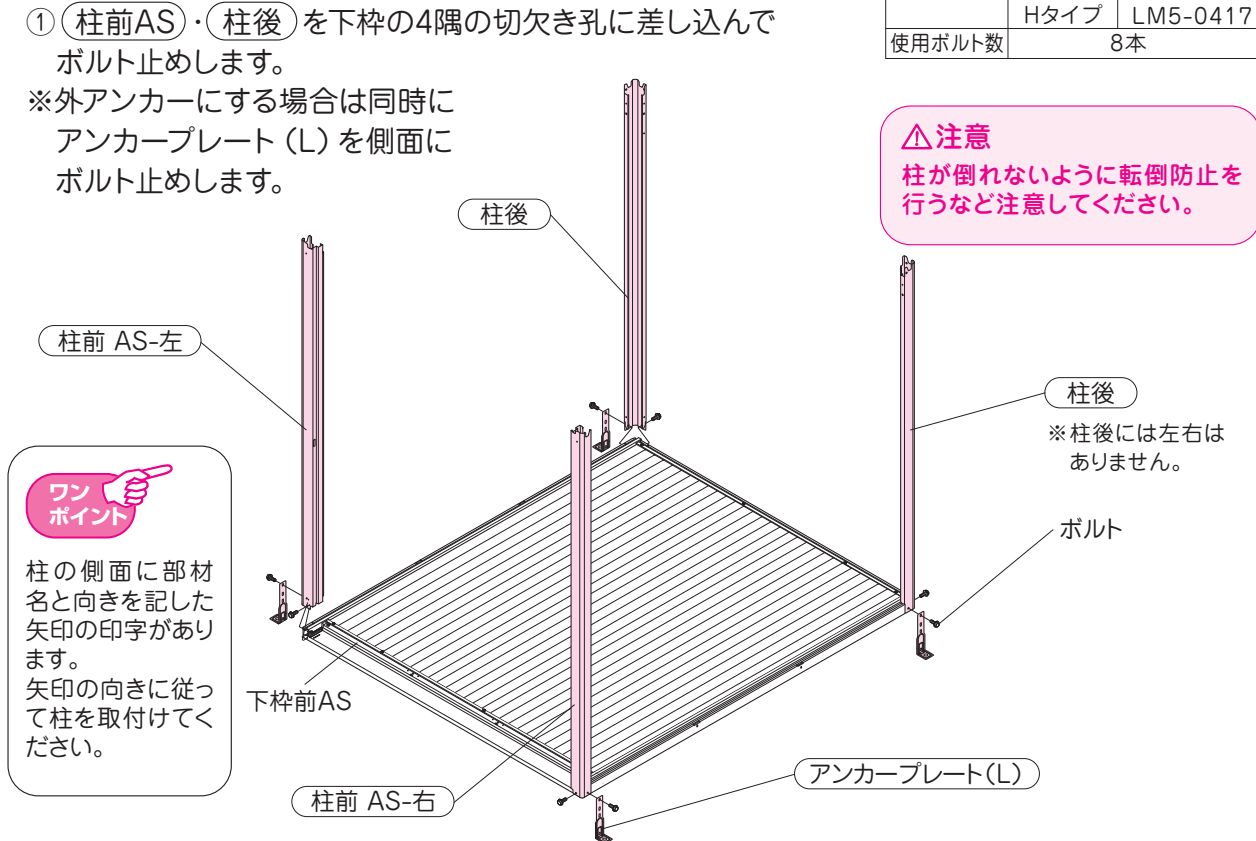
3 床の設置



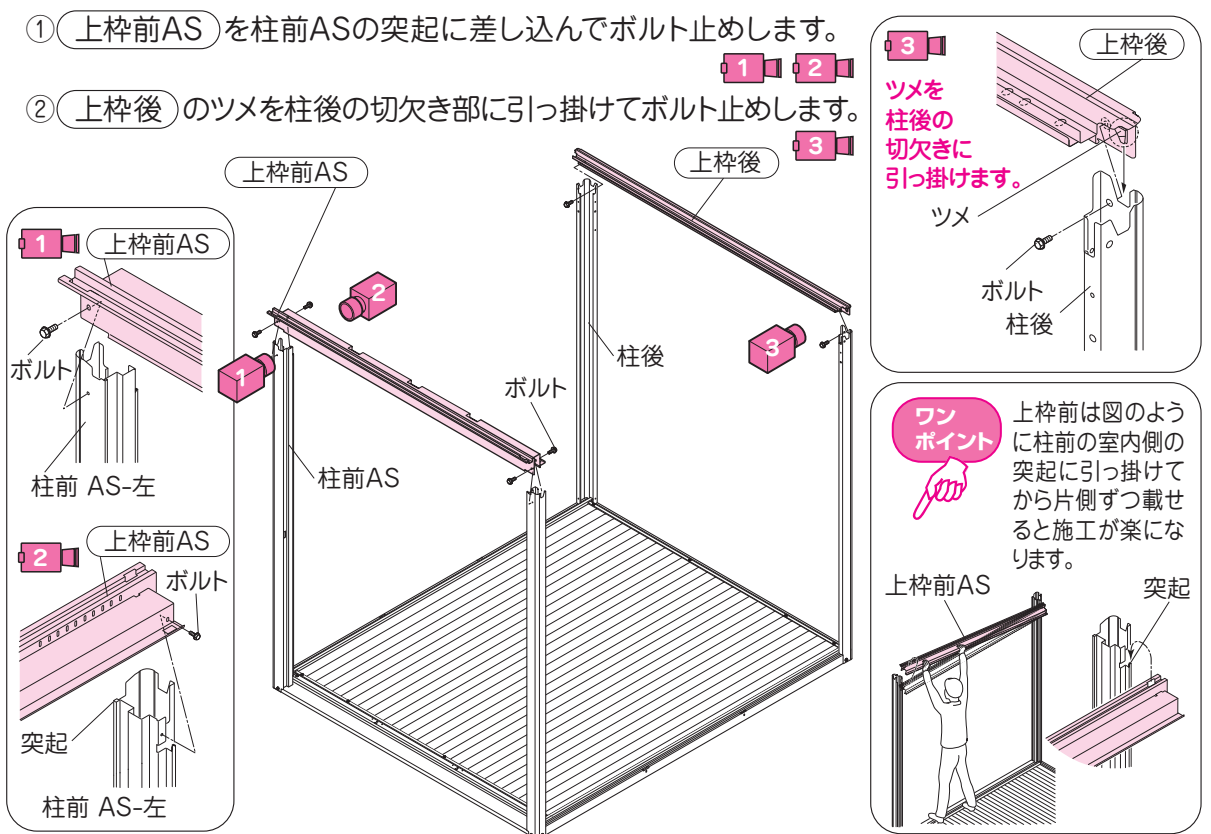
4 床押えの取付け



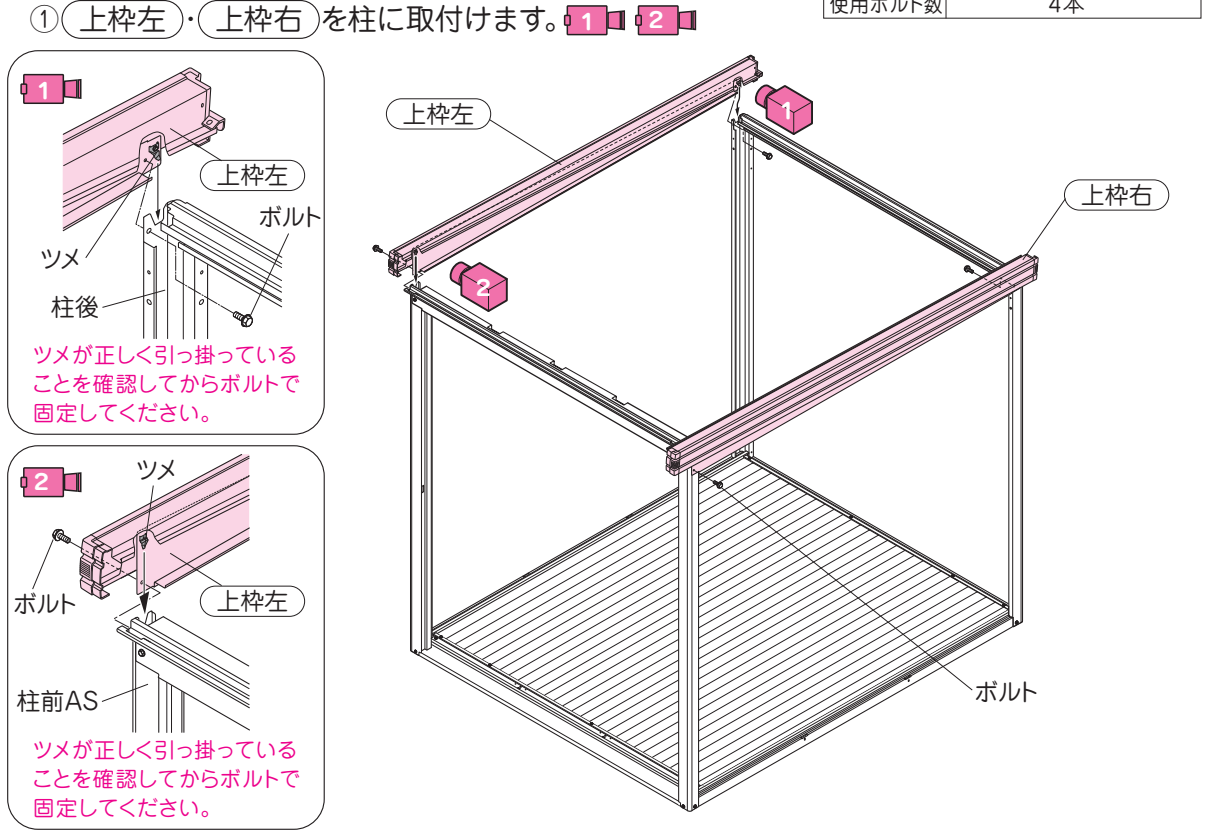
5 柱の取付け



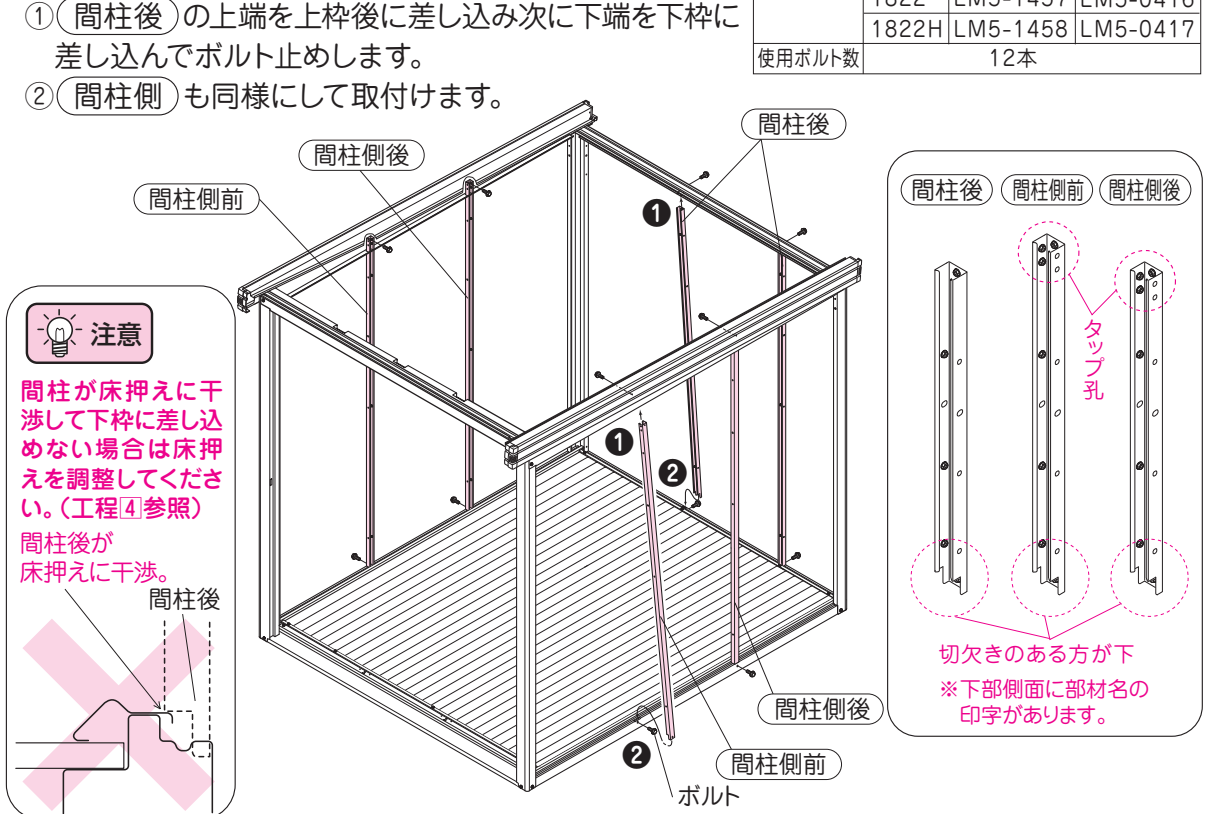
6 上枠前後の取付け



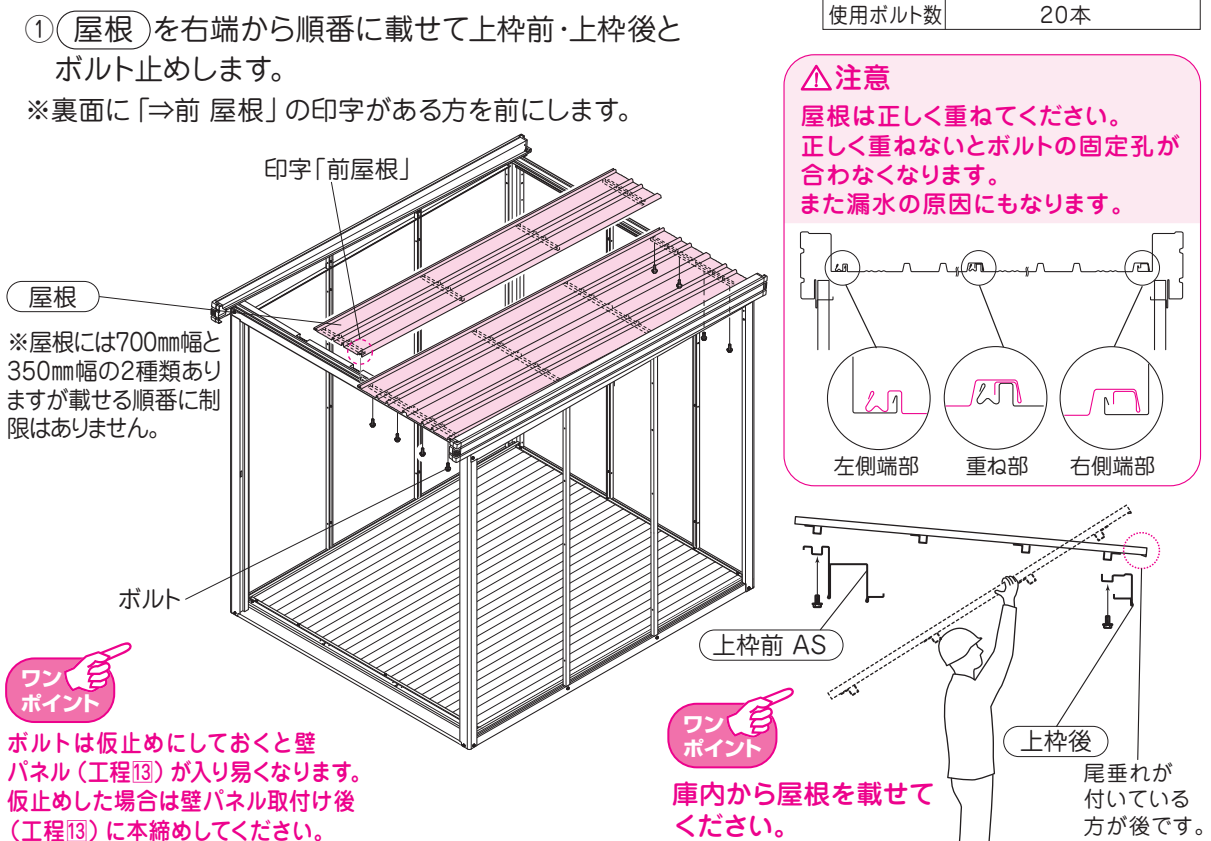
7 上枠左右の取付け



8 間柱側・後の取付け

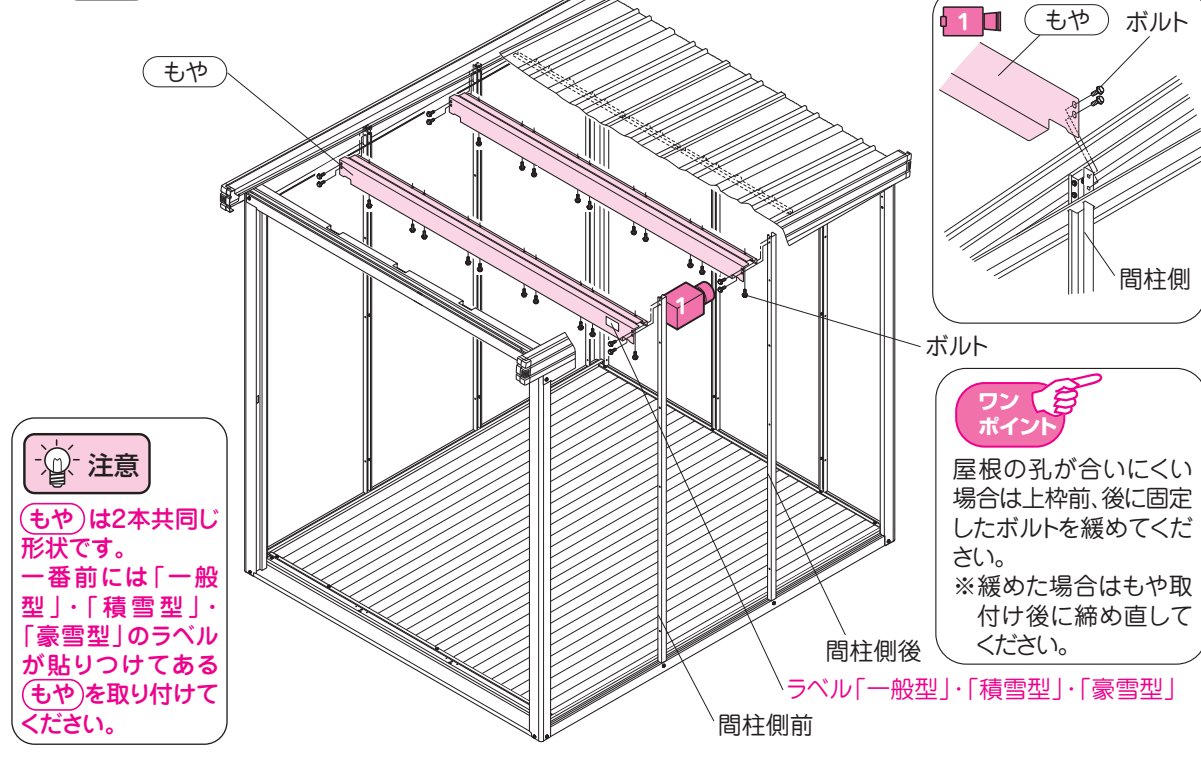


9 屋根の取付け



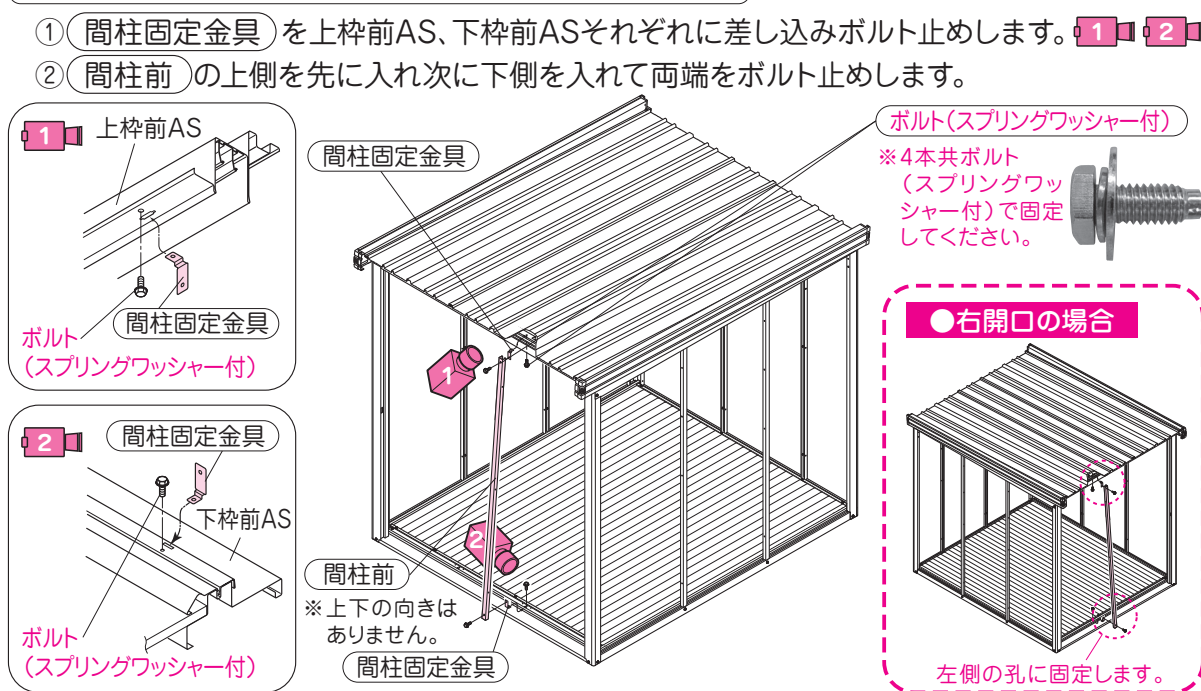
10 もやの取付け

- ① もや を正面から間柱側に載せてボルト止めします。**1**
- ② もや と屋根をボルト止めします。



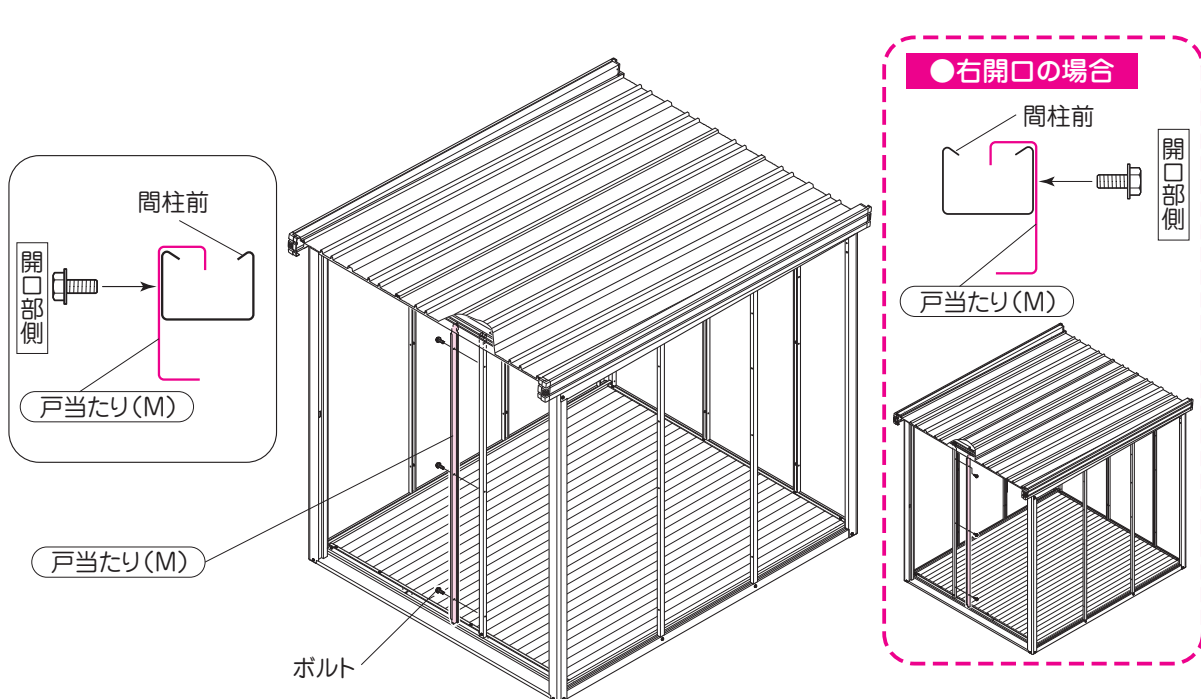
11 間柱前の取付け

- 工場出荷時の扉の開口は、左側開口となっていますが、右側開口にも変更できます。それぞれの開口により、部品の取付け位置が異なりますので開口に応じて組立説明書11・12・14・16・17・19を読んでください。
- ① 間柱固定金具 を上枠前AS、下枠前ASそれぞれに差し込みボルト止めします。**1** **2**
 - ② 間柱前 の上側を先に入れ次に下側を入れて両端をボルト止めします。



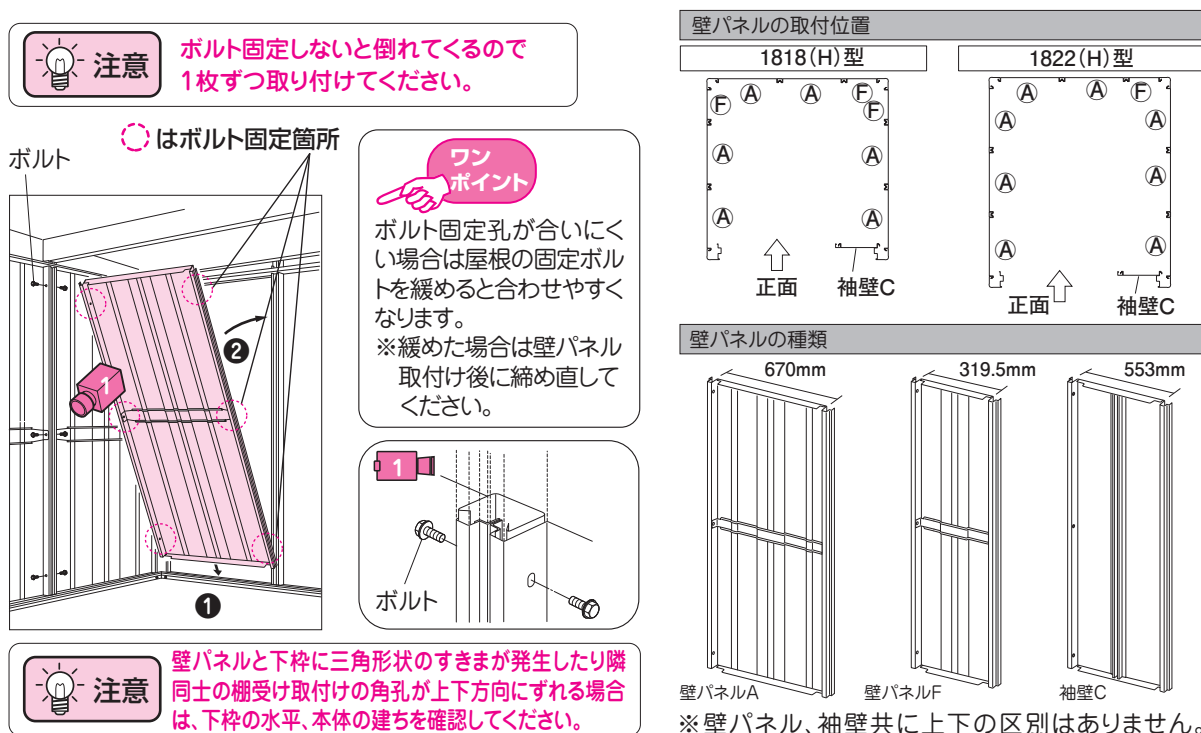
12 戸当たりの取付け

- ① 戸当たり (M) を間柱前に仮止めします。
※扉吊り込み後に扉に干渉しないように前後調整して固定してください。-工程17参照



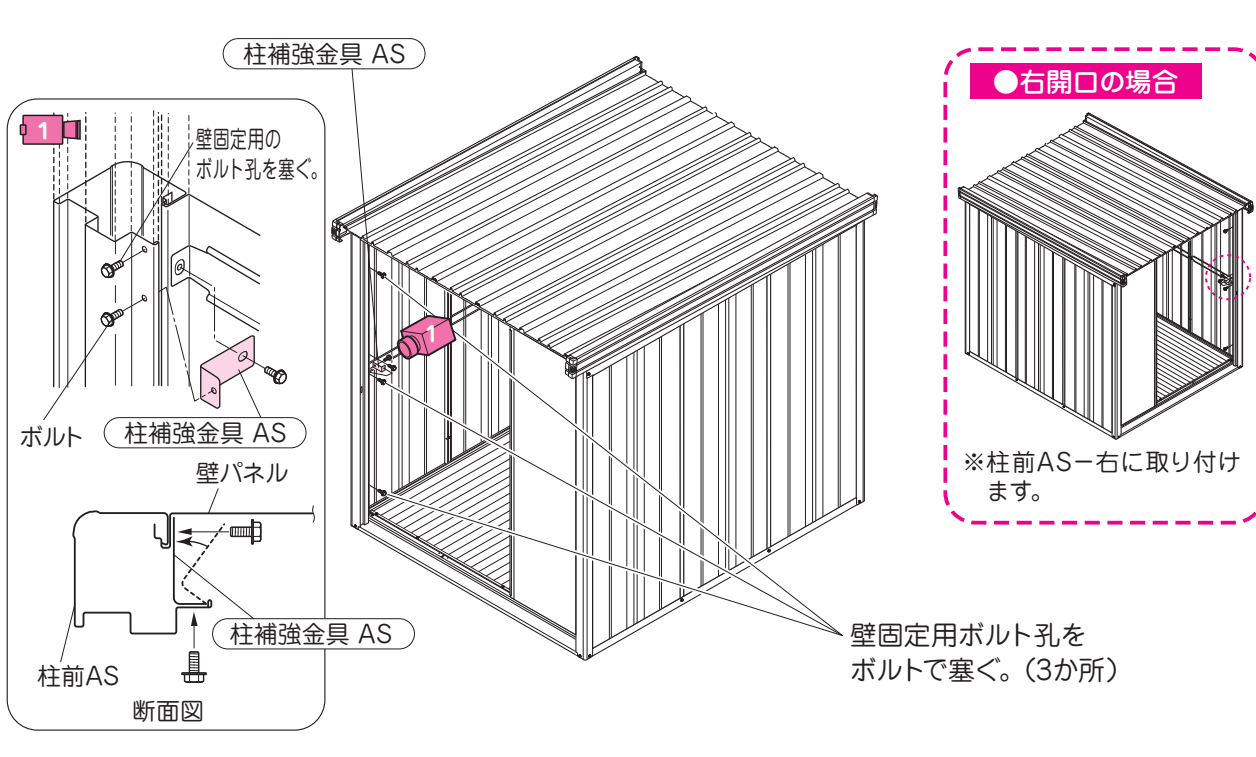
13 壁パネル・袖壁の取付け

- ① 室内から 壁パネル・袖壁パネル をはめ込みます。(下を先に入れて上をはめ込みます。)
- ② 柱・間柱にボルト止めします。**2** (開口部側面の壁は柱補強金具と一緒に固定します。-工程14参照)



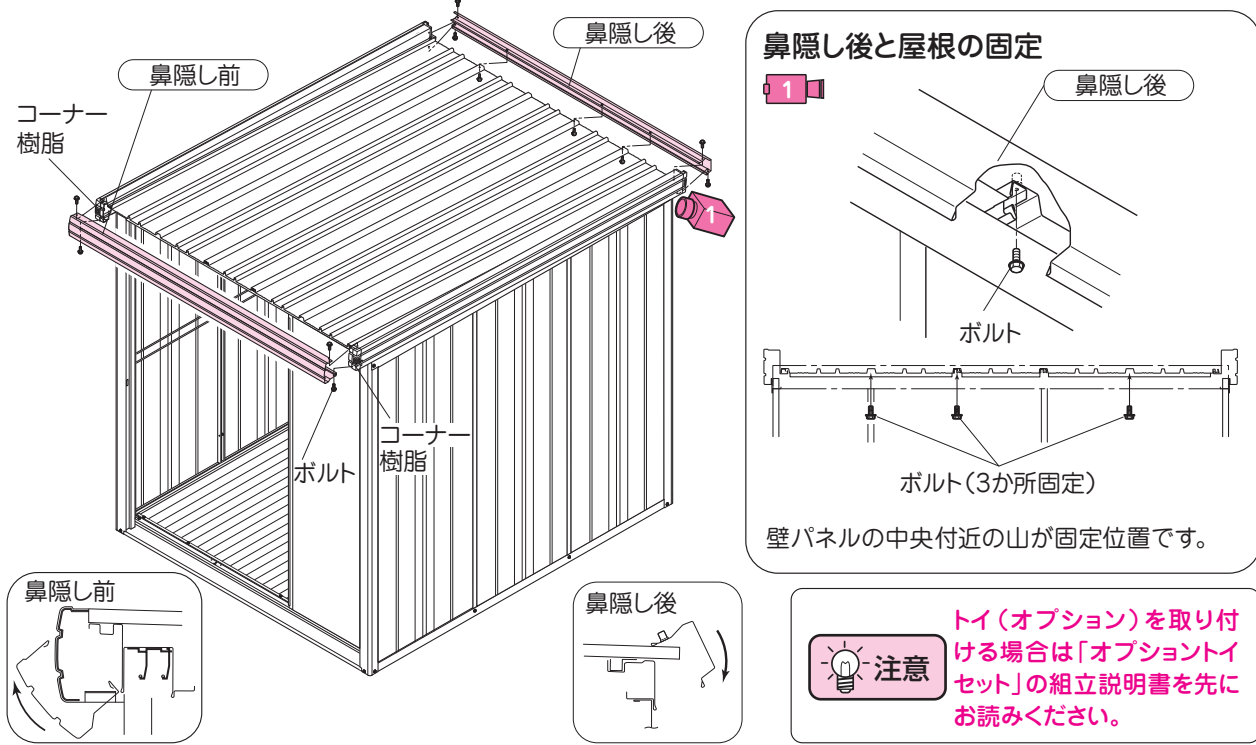
14 柱補強金具の取付け

- ① 柱補強金具AS を柱前AS-左 (右側開口の場合は柱前AS-右) にボルト止めします。**1**
- ② 壁固定用ボルト孔はボルトで塞ぎます。



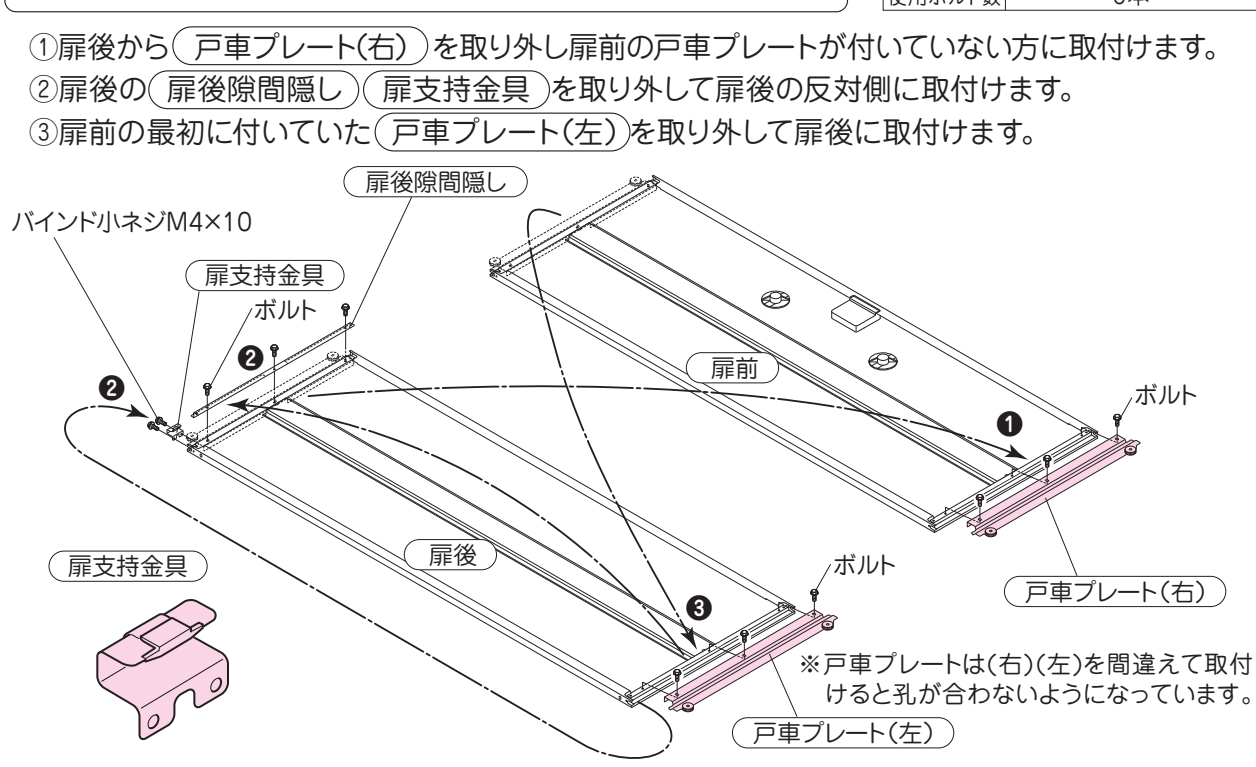
15 鼻隠しの取付け

- ① 鼻隠し前・鼻隠し後 を上枠左右のコーナー樹脂にかさねるようにして取付けてボルト止めします。
- ② 鼻隠し後 と屋根をボルト止めします。**1**



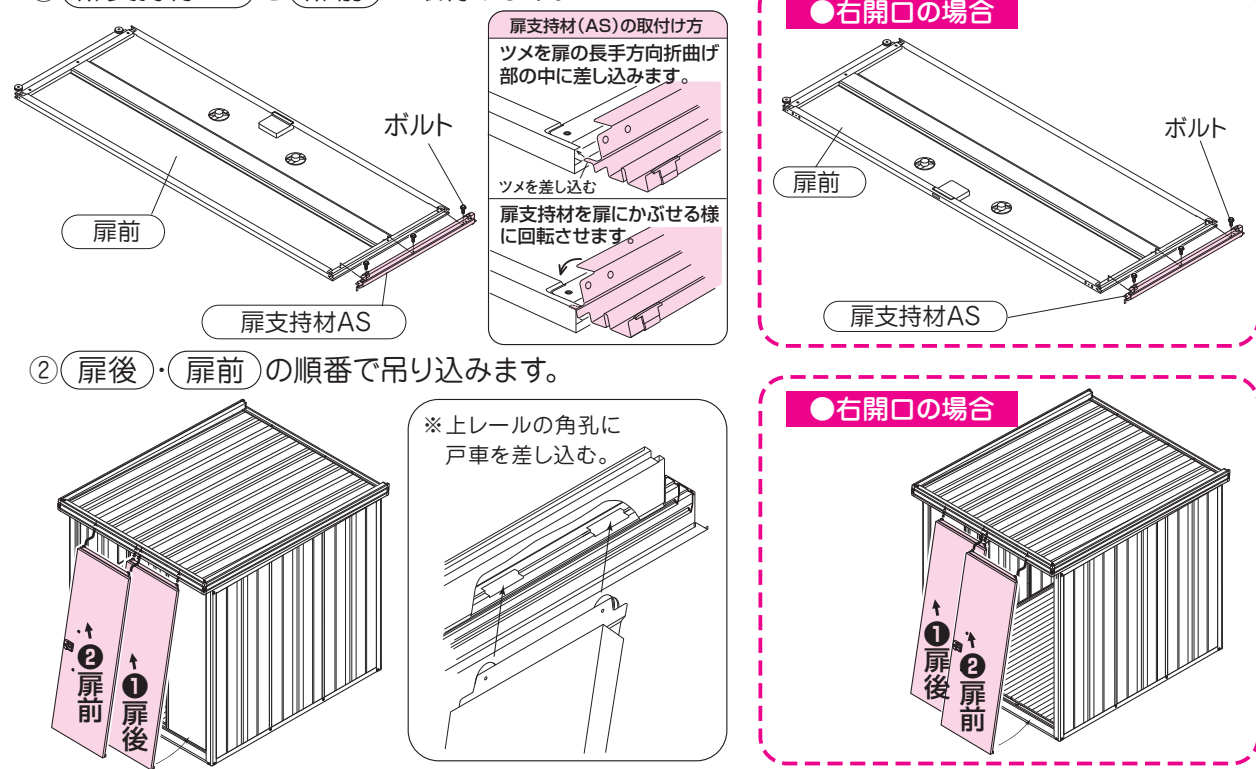
16 扉吊元変更 (右開口に変更する場合のみ)

- 右開口にする場合のみ吊元変更を行ってください。左開口の場合はこの工程は必要ありません。



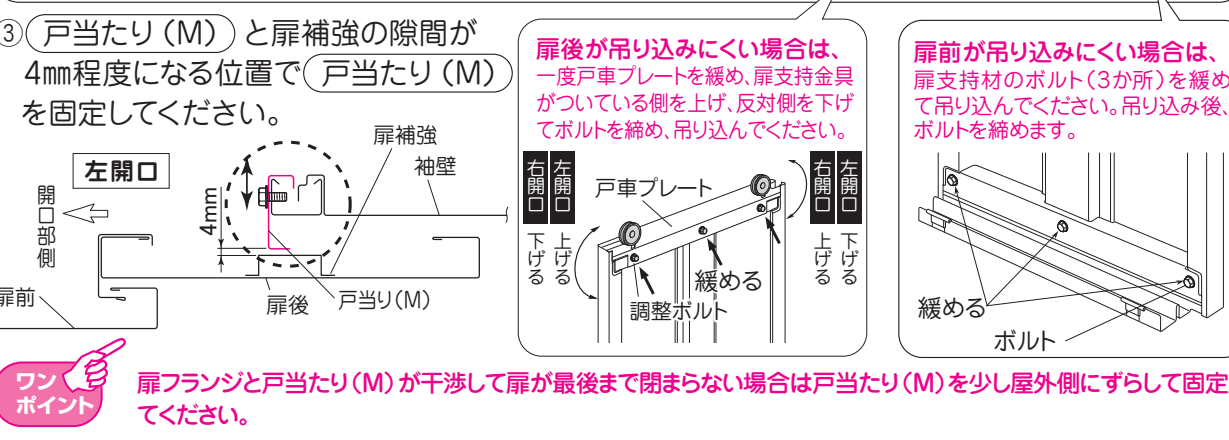
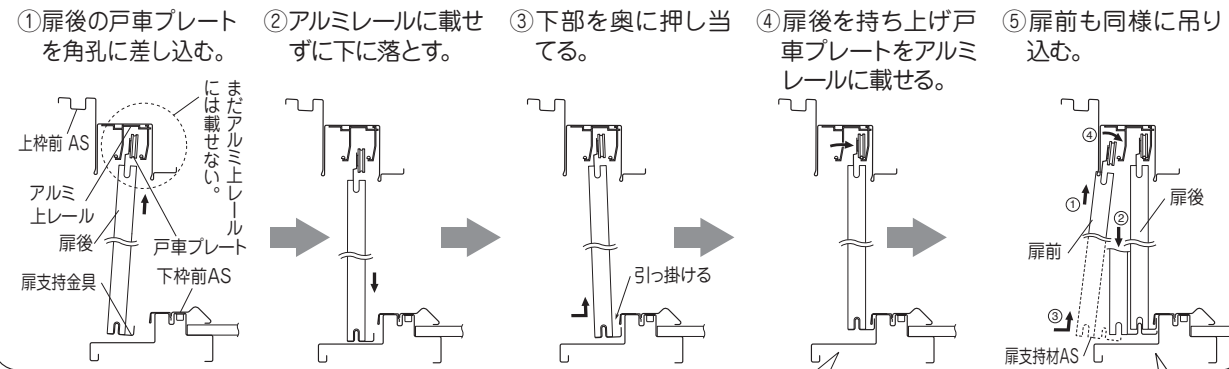
17 扉の吊り込み (1)

- ① 扉支持材AS を 扉前 に取付けます。



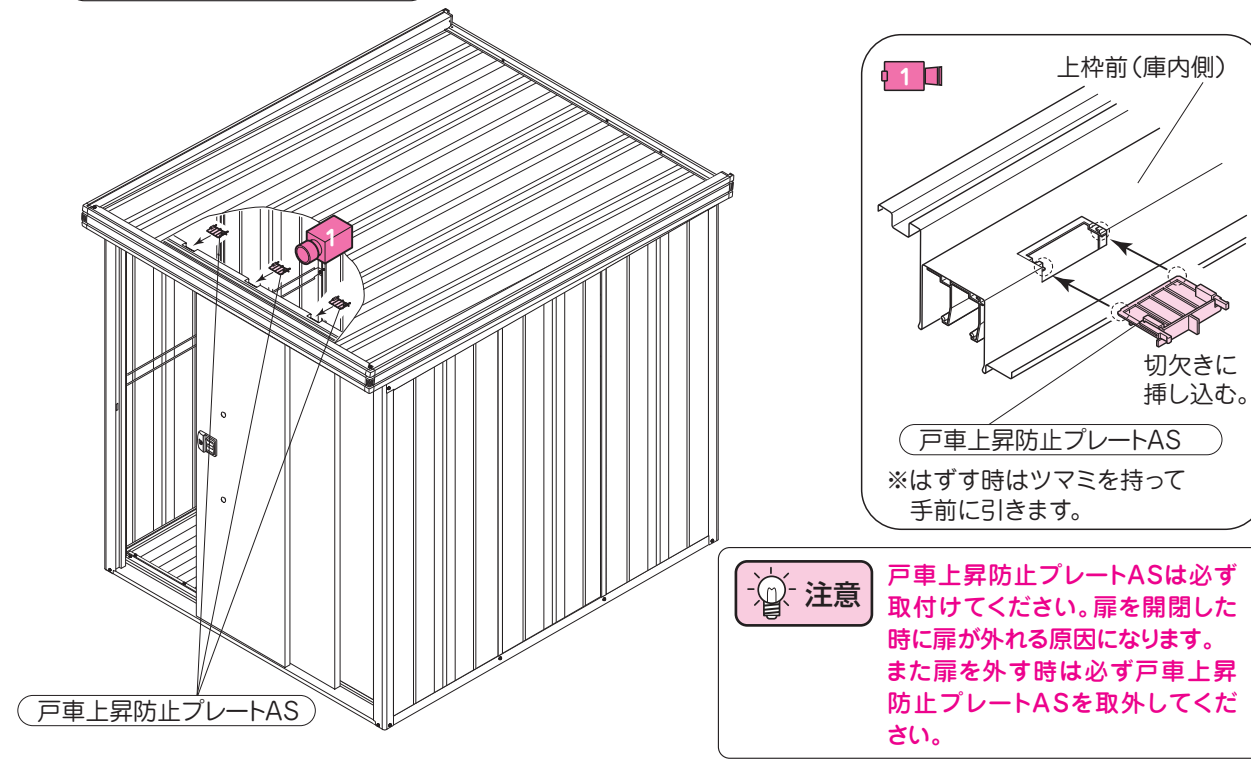
17 扉の吊り込み (2)

扉の吊り込み手順



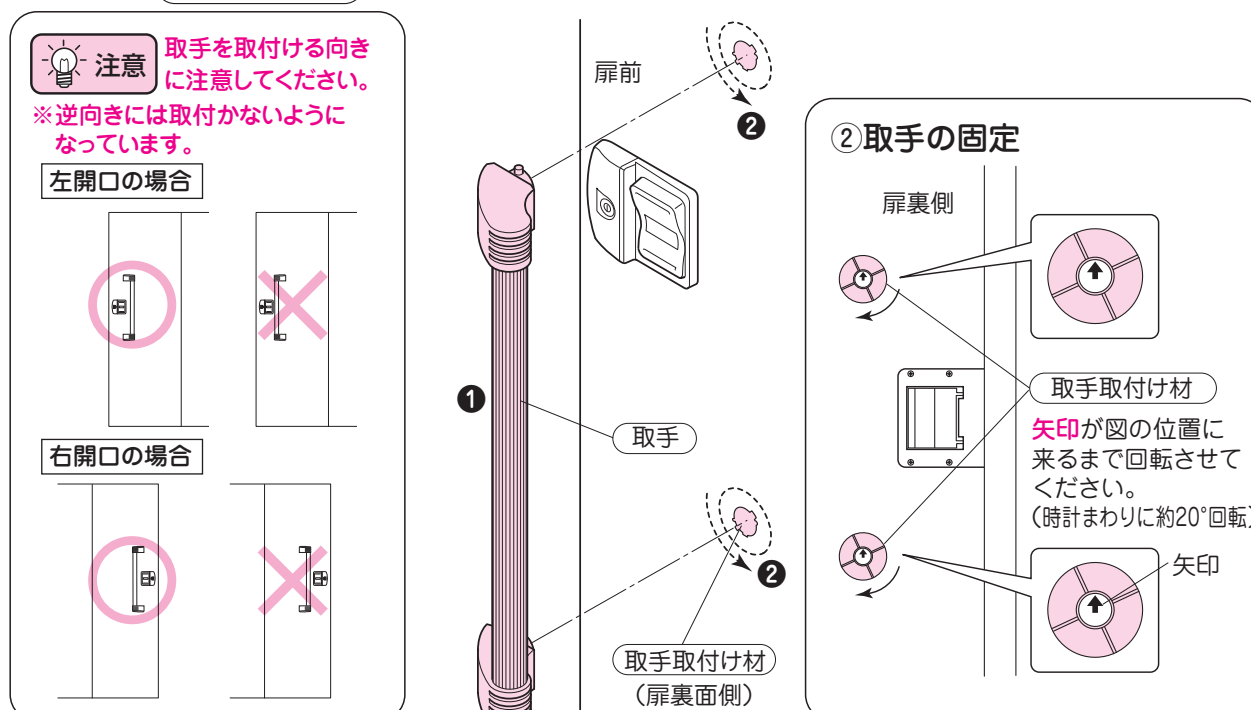
18 戸車上昇防止プレートの取付け

- ① 戸車上昇防止プレートAS を上枠前ASに取付けます。(3か所)**1**



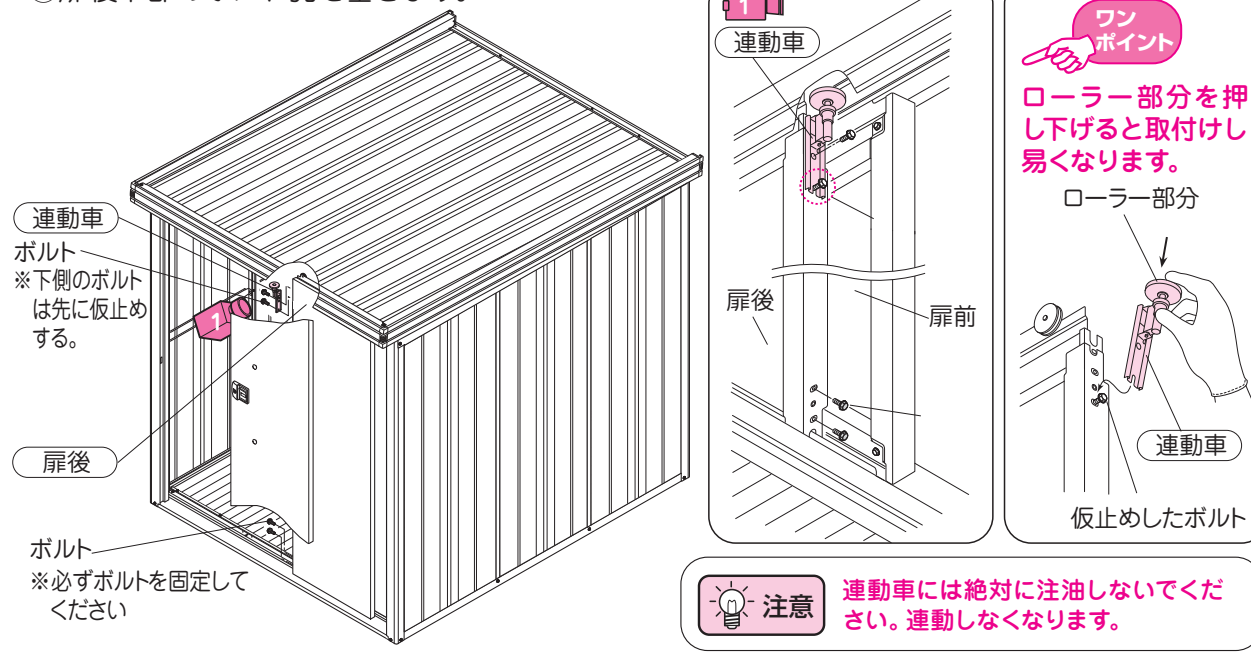
19 取手の取付け

- ① 取手 を扉前の取付け孔に差し込みます。※向きがありますので注意してください。
- ② 扉裏の 取手取付け材 を回して取手を固定します。



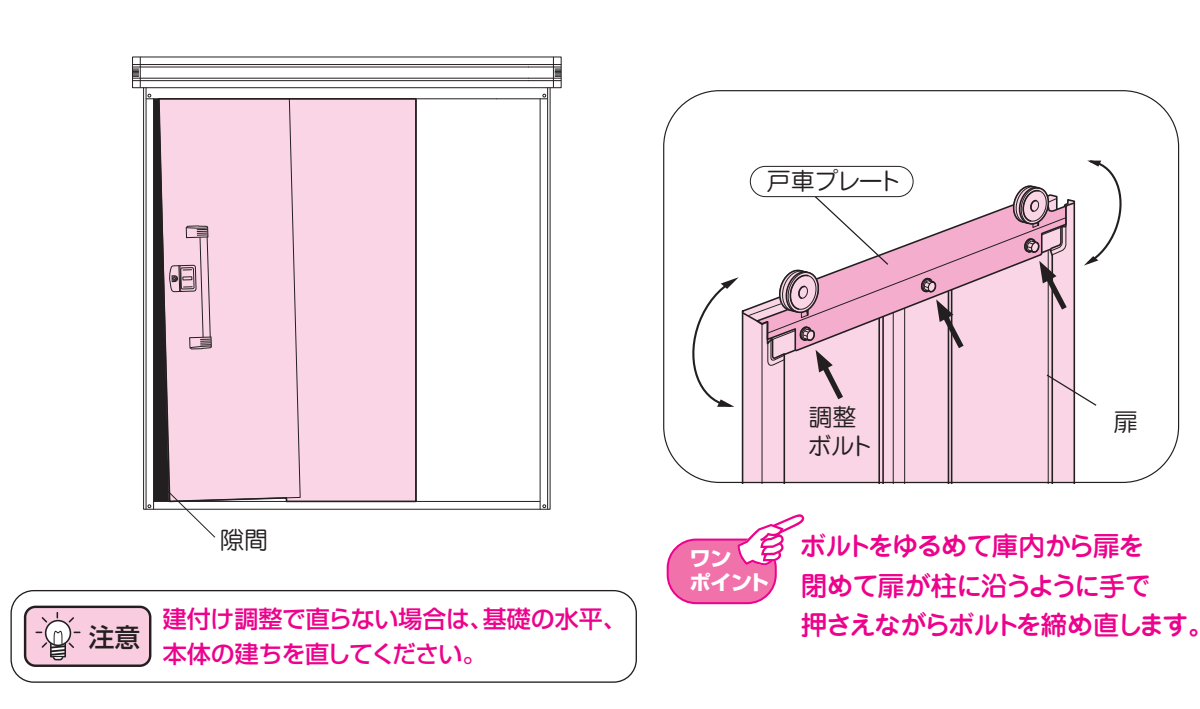
20 連動車の取付け

- ① 扉後の連動車取付け部下側の固定孔にボルトを仮止めします。(ネジ部を5mm程度残してください)
- ② 連動車 のローラー部分を押し下げながら下部切欠きを仮止めしたボルトに引っ掛けます。**1**
- ③ 連動車 をボルトで固定します。(仮止めしたボルトも締め込んでください。)
- ④ 扉後下部のボルト孔を塞ぎます。



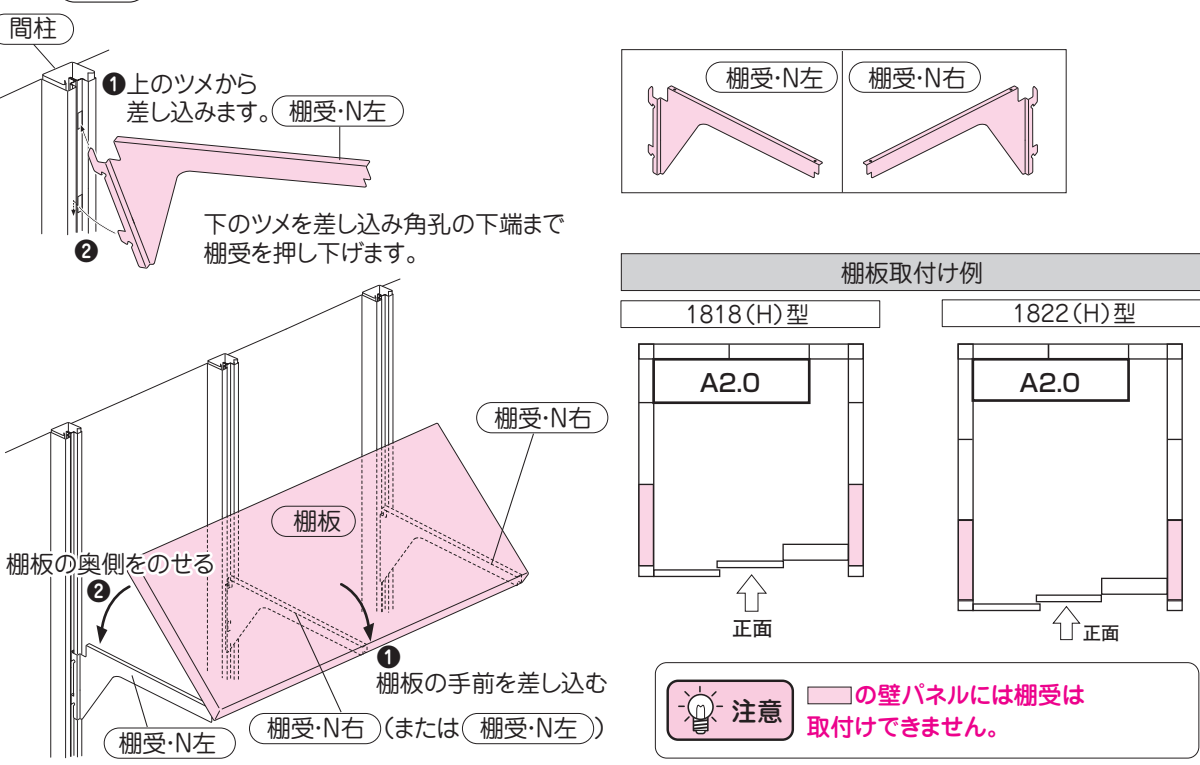
21 扉の建付け調整

- ① 扉を開けて柱と扉との隙間を確認します。
隙間がある場合や隙間がなくても鍵が掛かりにくい場合は、戸車を固定しているボルト (調整ボルト) をゆるめて調整します。



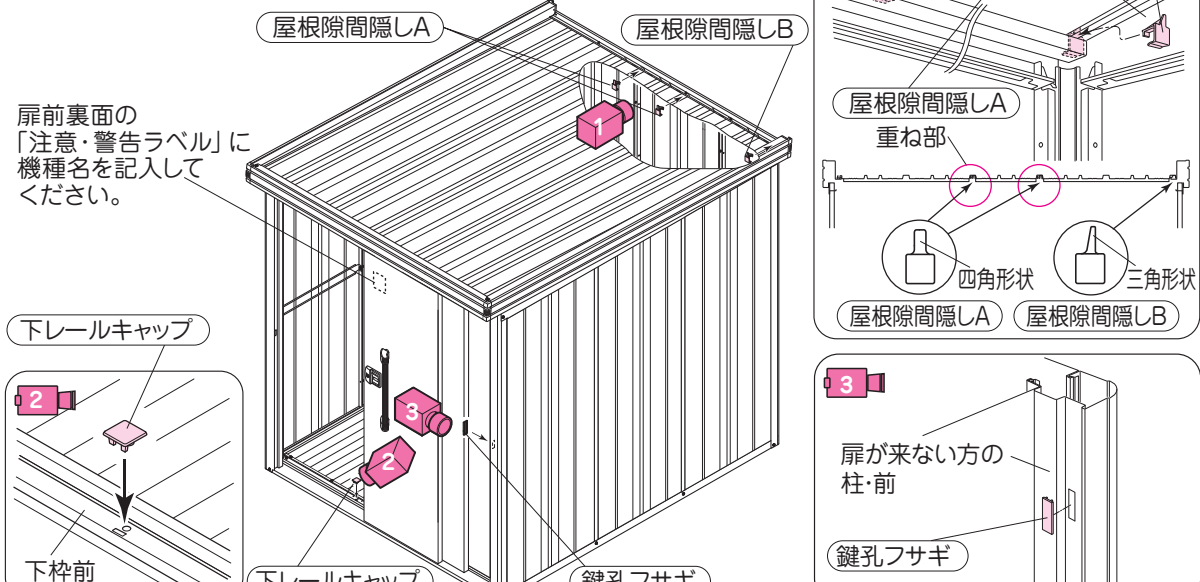
22 棚板の取付け

- ① 棚受 を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
- ② 棚板 を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A2.0が2枚付いています。)



23 その他部品の取付け

- ① 扉裏面の注意・警告ラベルに`機種名`を記入します。
- ② 屋根隙間隠しA を上枠後の屋根の重ね部に、屋根隙間隠しB を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。**1**
- ③ 下レールキャップ を下枠前に取付けます。**2**
- ④ 鍵孔フサギ を袖壁側の柱前に取付けます。**3**



●錠操作方法について 取扱説明書「錠操作方法について」を必ずご参照ください。

